

教育研修会

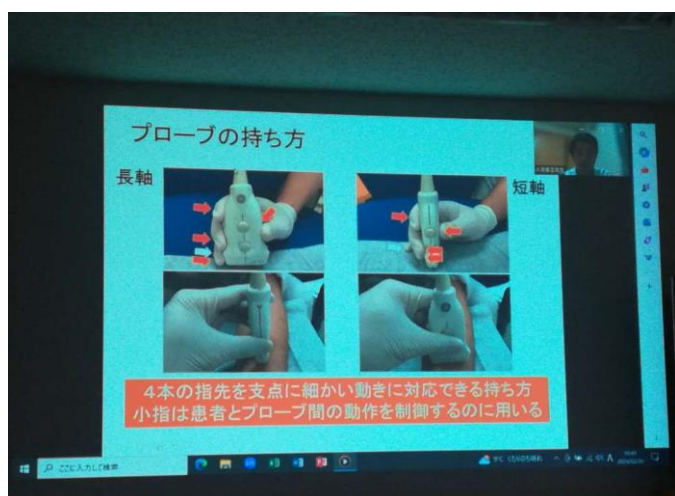
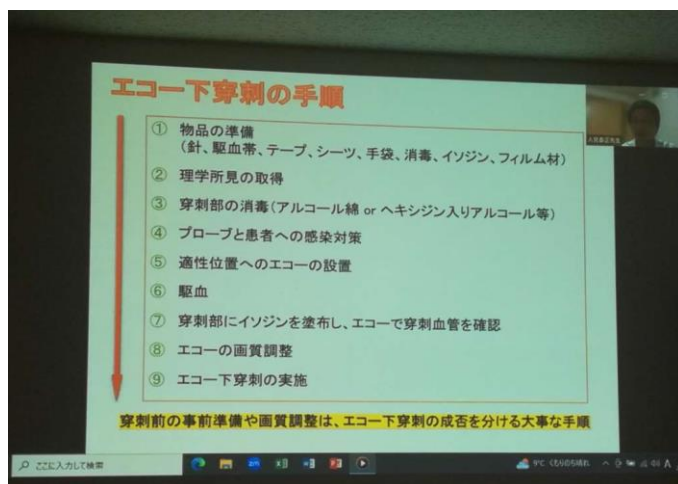
日時：R 6年 3月 5日(火) 16：40より開始

場所：新王子病院 4F 会議室A

講師： 渡邊 悠介さん

テーマ： エコー下穿刺について

講義中の様子です。



エコー下穿刺について講義をしていただきました。エコーの GAIN (色の明るさ)、FOCUS (焦点) は毎日適切に調整します。プローブは4本の指先を支点に細かい動きに対応できる持ち方をし、小指は患者とプローブ間の動作を制御するのに用います。プローブの持ち方で操作のしやすさが変わり、エコーの適切な設定、画面の位置など環境を整えることで穿刺の成功率にもつながることが分かりました。基本エコー下穿刺は1人短軸法 (sweep 走査法) で行い、エコーは寝かさずまっすぐ動かし、針がプローブを追い越さないように動かし穿刺します。追い越してしまうと針が後壁を貫通しても針先がどこにあるのか分からなくなります。エコー下穿刺でも針が血管を貫通した「手先の感覚」が非常に重要でエコーで内腔に入っているように見えても実は膜を貫いていないことがあるそうです。今回の講義を受け、現在一部の看護師は取得していますが、今後看護師全員がエコー下穿刺を取得できればと思います。